

第17回 西会津国際芸術村公募展 2022 今年も、無事閉幕しました。

回覧



2022 11月号



今年も多くのご来館ありがとうございました。十月八日(土)から十月三十日(日)まで「第十七回西会津国際芸術村公募展二〇二二」を開催しました。多くの人に会場にいただきました。ありがとうございます。

今年で十七回目を迎える公募展は、今年も全国から世代・地域・ジャンルを超えて、多くの人から応募がありました。今年の応募総数は、一般部門は五十一作品、U18部門は四十八作品、U15部門は三十作品、計、百二十九作品が会場に並びました。公募展に合わせ、てづくり・ハンドメイド・クラフト作品を並べて販売する「てんでんてんいち」を開催しました。クラフト作家さんやハンドメイド作家さん



さんがつながって広がって、いつか美しいかたちになるように願って企画したこのイベント。会津地域で活動する人など、十四店の出店者に参加して頂きました。てづくりされた作品に訪れた人も目を輝かせていました。

ポップアップショップ 大好評の二日間

十月八日(土) 九日(日)の二日間。まぼろしレストランにポップアップショップが開店しました。八日は、福島市を拠点に「暮らしに居どまる」発見をコーヒーでお届けする「こしばがコーヒー」が出店。当日は、厳選された豆と丁寧なドリップコーヒーにお魅を使ったフレンチトーストが提供されました。訪れた人は「久しぶりにこしばがコーヒーが飲めました。美味しかったです」と感想を頂きました。九日は、「ゆつぴのおやつ」と「にやおごはん」の出店。卵や乳製品、小麦、白砂糖不使用の栄養たっぷり、見た目も可愛いスイーツと西会津の野菜がたっぷりのランチを提供しました。



秋の演劇まつり 大好評に終わりました

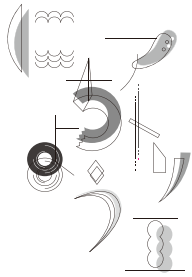
十月八日(土)・九日(日)の二日間、西会津で二つの演劇作品、「事象」×「とても情熱的な戀の理論」×「どんぐりと山猫」を開催しました。長野県松本市から劇団「野らぼう」、地元西会津町から創作ユニット「ほしぶろ」がそれぞれ作品を上演しました。創作ユニット「ほしぶろ」は俳優・星善之が主宰の創作ソロユニットで幅広い年代に楽しんでもらうべく、小説を題材として取り扱い、自身の経験や社会の情勢を反映させ、作品を再構成し上演するスタイルで、今回上映された「どんぐりと山猫」も宮沢賢治の作品のひとつ。今回は、観客も参加型の演劇で会場を盛り上げ、秋の演劇体験を楽しみました。



まぼろしレストラン × アーティストコラボ

十月二十二日(土)と二十三日(日)の二日間、滞在アーティストの(株)さんとのコラボレーションランチを提供しました。今回は、まぼろしレストラン定番のスパイスカレー二種と、西会津の豊かな食材を中心に十五種類の創作料理とデザート、ドリンクを楽しんで頂きました。またレストラン内には(株)さんの絵を飾り、絵を楽しみながら食事ができる空間となりました。来店した人からは「またたびを初めて食べました。他の料理も美味しくて真似したくなります」と感想も頂きました。





今月のにちようアトリエは？

“にちようアトリエ”は、「美術」を通じて子供たちに創作・表現を楽しんでもらう場所。

十月は、公募展の観覧者や各種イベントで賑わい、アトリエでも楽しい時間が流れました。アトリエの中の話ではないのですが、この活動をみてくださった西会津授産場さんと、少し前から交流が生まれています。そして十月中旬、公募展の作品鑑賞と、そして実際に作品も制作する、という芸術村プッチアーを授産場の利用者さんに体験してもらいました。普段は子供を相手に開催しているアトリエですが、参加者が大人となると違った発見もあり、面白い作品が生まれました。↓



公募展も今年、年齢関係なく個々の創造性を大切にしたいとの思いからU15部門を新設しました。言語の交流はなくとも、混在した作品を通して、新しいやりとりが生まれたように感じました。アトリエも、もつと自由に交錯できる場にしたものです。

アトリエは…毎週日曜日 13:30 ~ 16:00(時間内の出入り自由)、参加費無料、予約不要です！
※今月1週目のみ、ふるさとまつりにて、土日開催・参加費 300円

にちようアトリエ 11月予定表

11/5・6 『祝ふるさとまつり！お面作り！』

【内容】真っ白なお面に色を塗ったり、飾りをつけたり。公園で拾った秋の素材をくっつけてもいいね♪
★西会津・さゆり公園のふるさとまつりでやるよ。場所は芸術村ではないので気を付けて！
★こちらのみ、ワークショップ料金 300円がかかります。

11/13 『スライムをつくろう！』

【内容】スライムって何からできてるの？色をつけたり、ビーズやラメを混ぜたり、アレンジもできるよ！

11/20 『落ち葉アート』

【内容】落ち葉を「何か」に見立てて作品を作ります。画用紙の上に並べてみたら、、、何に見えるかな？

11/27 『アドベントカレンダー』

【内容】クリスマスに向けて、開けて楽しいアドベントカレンダーづくり。中身がお菓子のものがよく売られているけど、お楽しみの中身も手作りしてみよう！

アトリエは…毎週日曜日 13:30 ~ 16:00(時間内の出入り自由)、参加費無料、予約不要です！

※今月1週目のみ、ふるさとまつりにて、土日開催・参加費 300円

スタッフおすすめ 今月の本「どんぐりと山猫」



この本は、「じぶんカフェ」にてお読みいただけます。

芸術村スタッフのおすすめの本をご紹介します。今月は山口が担当します。十月九日の芸術村でほしぶろさんによる上演が記憶に新しい宮沢賢治原作「どんぐりと山猫」です。一郎と山猫と(馬車別当と)どんぐりたちの賑やかで滑稽な裁判風景。ほしぶろさんの劇中にみんなで楽器を奏でたあの部分(現在国立新美術館で展示中の李禹煥さんの感覚をなぞる作品で。文章は原文とともに英訳が記されており、その翻訳はなんとCWニコルさん！そんな贅沢な大人たちによる絵本、ぜひ、手に取ってご覧ください。



季節は冬にまっしぐらな西会津。秋は実りの季節。新米・きのこ・秋冬野菜・くだものなど秋の味覚が盛りだくさんですね。私にとって、秋の味覚といえば「イナゴの佃煮」。小さい頃は、ばあちゃんがイナゴの佃煮を作ってくれました。捕獲用の袋に黄色く実った田んぼの間をはねるイナゴを捕獲するのは子どもの仕事。大きな鍋で乾煎りして、味付けをしたら完成。わか家のイナゴの佃煮は、他の家と少し違って、佃煮と言うよりカリントウに近く、イナゴの足もとりません。サクサク食感が大好きでした。最近、西会津でもつくる人は聞きませんし、ちょっと寂しいなと思います。来年こそは、自分で作ってみたいですね。



季節は冬にまっしぐらな西会津。秋は実りの季節。新米・きのこ・秋冬野菜・くだものなど秋の味覚が盛りだくさんですね。私にとって、秋の味覚といえば「イナゴの佃煮」。小さい頃は、ばあちゃんがイナゴの佃煮を作ってくれました。捕獲用の袋に黄色く実った田んぼの間をはねるイナゴを捕獲するのは子どもの仕事。大きな鍋で乾煎りして、味付けをしたら完成。わか家のイナゴの佃煮は、他の家と少し違って、佃煮と言うよりカリントウに近く、イナゴの足もとりません。サクサク食感が大好きでした。最近、西会津でもつくる人は聞きませんし、ちょっと寂しいなと思います。来年こそは、自分で作ってみたいですね。

イコス日記誌

写真撮影の舞台裏

最近、猿が校庭を横切るのが多いなあと思う毎日です。親子連れの猿も冬に向けて活発に活動してますね。この1枚は、何かを食べてるベストショットです。



窓掃除 # ピカピカ # スッキリ # 蜘蛛の巣

マワリテメクハ

季節の小話と二句

十一月七日 立冬(りつとう)

秋が極まり冬の気配が立ち始める頃なので「立冬」とされる。この頃は太陽の光が弱くなり、朝夕など冷え込む日が増える。

十一月二十二日 小雪(しょうせつ)

気温が下がり、北の地方を中心に初雪が舞い始める。冬將軍が到来すると言われる時期で、北の地方ではコタツを押し入れから出す家が増える頃。

今月の一句

寒いねと

ホカホカココアで

暖をとる

SNS更新中！
チェックしてみてね！



【お問い合わせ】西会津国際芸術村
tel : 0241-47-3200
mail : niav.public@gmail.com
〒969-4622 福島県耶麻郡西会津町新郷大字笹川上ノ原道上 5752

【HP】



【LINE】



【instagram】



【Facebook】



【YouTube】



【Twitter】

